

平成28年度 川棚町立川棚小学校 学校評価(最終)

長期	中期目標	短期目標	具体目標	担当	評価方法及び評価基準	達成状況	評価	改善策
思いやる子	相手を思いやり、川棚を愛する子	特別支援教育の充実 (児童の姿)	お互いのことをよく知り、認め合う	生活 相談	アンケート	アンケートで、いじめられたと答えた児童は、1学期より減っていた。陰湿な事例は見受けられなかった。	B	アンケートの資料を残して、長期化したいじめがないかを確認する。継続的な観察と指導をしていきたい。
		規範意識の向上 (児童の姿)	気持ちのよいあいさつをする	生活 相談	アンケート	「川小まつり」の時は、地域の方々に明るいあいさつができ、良い評価をしていただいた。児童の意欲も高まってきた。	B	あいさつが良い児童を称賛する場を設定し、さらに意欲を高めていく。
		体験活動の充実(交流) (児童の姿)	様々な体験を通して、地域の人や異学年の人と、思いやりをもって交流している。	特別 活動	観察	川小まつりでは上級生の出店を見て来年への意欲をかき立てていた。小さな子も楽しめる工夫やルールがあり、他の子への配慮が行き届いていた。出店側もお客さん側も交流が深まり、地域の方の出店や発表も大変興味を持って見ていた(参加していた。)低学年の発表も準備にさほど負担をかけずにできてよかった。互いに思いやりを示す機会を持てたと思う。	A	・現在の企画を原則として今後も創意工夫をしていきたい。
		特別活動の充実 (児童の姿)	集会等の企画・運営に進んで取り組み、楽しく参加している。	特別 活動	観察	縦割り活動のお知らせを掲示板を通して試みるのが社会的な体験としてよい取り組みである。エコアートの活動は、代表委員会の話し合いから行ったが、自分たちの発案を生かすような活動ができてよかったのではないかと。自分たちで創意工夫するような活動ができた。放送委員会や生活委員会の工夫が見られたが、当番的な活動が多い委員会の確実な実施が必要。代表委員会に時間がとれる範囲でいいので学年で1人は担任が来てほしい。	B	スーパーのトイレの当番表みたいなものを作る 議題によって低学年の意見を代弁してもらえればと思う
進んで学ぶ子	確かな学力を身に付けた子	基礎基本の定着 (児童の姿)	・標準学力調査の基礎問題において、全国平均正答率以上を目指す。 ・学期末まとめテストで8割以上を目指す。	教務 研修	テスト結果	読み取りは、1学期に比べるとチャレンジテストもよくできていた。学期末まとめ漢字テストは8割達成は出来なかった。成果が出ているかは分からないが、4年生は、漢字のなぞりがきを取り入れたり、作文をローマ字入力で行うなどの取り組みを行った。	B	漢字は診断テストの回数を増やすことで、1学期よりも向上したので継続する。 作文を書くときに、漢字を使うことを意識させる。
		思考力・判断力・表現力の育成 (児童の姿)	・標準学力調査の基礎問題において、全国平均正答率以上を目指す。 ・学期末まとめテストで8割以上を目指す。	教務 研修	テスト結果	少しずつ言葉に着目して話そうとする姿が見られるようになってきた。ペア対話やグループ対話での話す訓練を繰り返すことで、充実することができた。ただ、成果の見取り方が難しいと感じている。	B	発表の話形を指導し身に付けさせる。
		タブレット・ICTの活用 (児童の姿)	学年に応じたタブレットの操作ができる。	教務 研修	リテラシー—覧	社会科や総合学習など、調べ学習でタブレットを使う機会が増えた。使っている中で、不具合が多く効果的に使えないことがある。	B	回線速度も含めて、不具合が解消できるよう、業者や教育委員会に要望するとともに、実技研修会を開いていく。
		読書の推進 (児童の姿)	年間100冊以上の本を読む。	教務 研修	読書記録カード	学校では読んでいる印象があるが、高学年になるとじっくり読む時間もなく、子どもたちにも保護者にも、継続して啓発する必要がある。	B	読書タイム(読み語りじゃない日)を設定でないか、朝の時間の見直し・確認等を考えていく。
		家庭学習の習慣化 (児童の姿)	家庭学習に毎日取り組む。(時間の目安「学年×10分+10分」例:3年生は40分)	教務 研修	アンケート	する子としない子の差が縮まった感じはなく、逆に差が広がっている感じがある。取り組む姿勢や内容など子どもたちと大人の意識の差が大きい。	B	やらされている感が強いので、自分で課題を決めて取り組むような姿を求めてやっていく。あわせて、定期的な学校全体でのチェックするようなシステムが必要ではないか。
やりぬく子	体力づくりに努め、最後までやりぬく子	体力の向上 (児童の姿)	体育の授業に積極的に取り組む。	保健 安全 体育	アンケート (5月と3学期)	学習カードの使用により意欲の向上が見られた。	B	3学期にアンケート2回目を実施し、変容を見る。
		柔軟性を高める。	保健 安全 体育	アンケート (5月と3学期)	ジャックナイフストレッチの呼びかけや実施はできた。	B	ジャックナイフストレッチのやり方を体育館に掲示し、正しい方法で継続する。	
		清潔で安全な学校づくり (児童の姿)	無言掃除に取り組む。	保健 安全 体育	掃除後の反省会 (だいき)	だいきの反省会をしているが、無言掃除が徹底していない。	B	だいきのめあてを掃除の最初に唱和して掃除を始める。
		健康教育の推進【児童の意識改革】 (児童の姿)	病気に負けない生活習慣を身につける。	保健 安全 体育	うがい、手洗い、マスク、ハンカチ、ティッシュ、つめなどのチェック	必要な場面でチェックを行い、奨励していた。	B	1月の保健指導で手洗い実験をして、手洗いの意識を高める。 給食当番チェック表に「爪」の項目を入れる。
信頼される学校	指導力を高めるため、学・校・家・庭・推・進・地・域と連携し開かれ	教職員の資質の向上 (教師・学校の姿)	楽しく分かる授業に努めている。	教頭	アンケート調査	・学校評価における保護者アンケート「10 教師は、楽しくわかる授業をしている」の結果が3.29ポイントという好評価であり、達成できていると言える。	A	・学校評価における保護者アンケート「4 お子様は、学校の勉強がわかっているようだ。」の結果が平均を上回る3.04ポイントという評価であったが、保護者が子どもの学力の向上をより実感できるよう努力する。
		家庭・地域との連携 (教師・学校の姿)	電話や来校時の教職員の対応は適切である。	教頭	アンケート調査	・学校評価における保護者アンケート「11 教職員は、電話や来校時の対応がよい。」の結果が3.44ポイントという好評価であり、達成できていると言える。	A	・電話を受ける場合、「川棚小学校の〇〇です。」という言い方を心がける。 ・1学期と同様の内容を継続して心がける。
		組織力の強化 (教師・学校の姿)	PTA活動に協力的である。	教頭	アンケート調査	・学校評価における保護者アンケート「12 教職員は、PTA活動に協力的である。」の結果が3.41ポイントという好評価であり、達成できていると言える。	B	・学校内のPTA行事については、休日返上・勤務時間外での積極的な参加があり保護者の信頼を深めることができたと思う。 ・町・郡PTA主催の会への可能な時間での参加を心がける。
		施設・設備等学校環境の	安全点検結果に基づく対応策の協議により、早急に改善または改善の目処をつけることで校内施設設備の不備による事故を未然に防ぐ。	事務	安全点検における各場所担当者による改善状況評価	点検結果に基づき、早急な対応ができている。	A	学校のみでの対応が難しいものなど、予算要求を通じて町教委と協議を進めていく。